

町田市役所からの
お知らせ

ごみ資源化施設建設 NEWS

発行日：2013年2月21日
発行：町田市環境資源部
編集：環境政策課
問合せ：循環型施設整備課
住所：町田市森野2-2-22
電話：042-722-3111
(内 3721~3724)

広報紙「ごみ資源化施設建設 NEWS」では、2020年度に運転を開始する新たなごみの資源化施設に関する情報を不定期で皆様にお届けします。

建設地を選定しました

建設地周辺の方を対象とした説明会を行います。日程等の詳細は、2月21日号の広報まちだと町田市ホームページに掲載しています。

資源ごみ処理施設①
相原エリア（民有地）

資源ごみ処理施設②
上小山田西部エリア

熱回収施設等
町田リサイクル文化センター
（下小山田町 3160 番地）

資源ごみ処理施設③（既存施設）
リレーセンターみなみ
（鶴間 467-5）

※上小山田西部エリアは、地域のまちづくりなどに配慮し協議を進めていきます。

市では、2011年4月に策定した「町田市一般廃棄物資源化基本計画」を受け、市民・事業者・有識者で構成する「町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会」を組織し、施設計画と建設候補地の選定を進めてきました。

昨年11月の委員会報告を受け、市では新たなごみの資源化施設の内容と建設地を、左図のとおり選定しました。

今後は、説明会等により地元にお住まいの皆さまとの話し合いを進めてまいります。

新たなごみの資源化施設 Q & A

Q なぜ施設を整備するのですか？

A 施設が老朽化したためです。

町田リサイクル文化センター

- ・ 築 30 年
- ・ 過去 10 年間の修繕費約 51 億円！

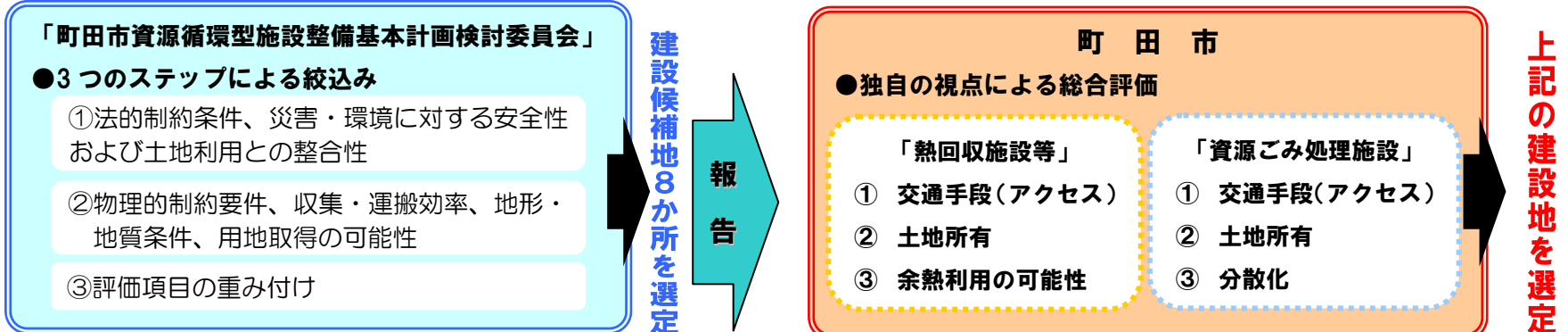
※2003～2012年度に維持管理にかかった修繕費の合計。

新たなごみの資源化施設

- ・ 将来にわたる安定したごみ処理の実現
- ・ 法令よりも厳しい自主規制値を設定し、よりクリーンな施設を実現
- ・ 施設の屋内設置（資源ごみ処理施設）

Q 建設地はどのように選定したのですか？

A 市民参加による「町田市資源循環型施設整備基本計画検討委員会」で3つのステップを設定した絞り込みをおこなった後、市独自の視点で総合評価をおこない選定しました。



Q なぜ資源ごみ処理施設を分散化するのですか？

A 以下の3つの理由から分散化します。

- ① 環境負荷の低減：収集車の台数削減と移動距離を短くすることで、燃料の消費量を抑え、CO₂の排出量削減を図ります。
- ② 安定したごみ処理の実施：点検時など施設が停止した場合でも、他方の施設で安定したごみ処理をできるようにします。
- ③ ごみの資源化に関する活動拠点：地域でのごみの資源化に関する意識の向上を促す拠点等とします。

新たなごみの資源化施設の内容

2020年度までにごみ量を40%削減することを全体目標とするため、処理能力は現施設の約6割とします。

熱回収施設等 町田リサイクル文化センター

- 施設整備費：約200億円 ● 所要面積：約28,000㎡
- 焼却施設：処理能力258トン/日（発電効率17%以上）

安全性
排ガスは法令よりも厳しい自主規制値^{※1}で徹底管理します。

- バイオガス化施設：処理能力50トン/日

安全性
バイオガス化施設は、現在全国540か所で稼働していますが、法令による安全対策や日常点検等により、一昨年（2011年）の東日本大震災を含め、これまで爆発火災などの事故が発生した例は一件もありません。

- 不燃・粗大ごみ処理施設：処理能力47トン/日

※1 新たな焼却施設の自主規制値

	新たな焼却施設	法規制値
ばいじん	0.005g/m ³ N以下	0.04以下
硫黄酸化物	10ppm以下	580程度以下
窒素酸化物	30ppm以下	250以下
塩化水素	10ppm以下	430以下
ダイオキシン類	0.01ng-TEQ/m ³ N以下	0.1以下
水銀	0.03~0.05mg/m ³ N以下	規制値なし

資源ごみ処理施設 相原・上小山田西部・リレーセンターみなみ

- 施設整備費：約58億円（3か所合計）
- 所要面積：約11,700㎡^{※2}
※2 1か所あたり。ただしリレーセンターみなみは除く。
- プラスチック圧縮梱包施設：処理能力26.4トン/日^{※3}
※3 リレーセンターみなみ（5トン/日）を含む。

安全性
2010年6月に、市民の皆さまにご参加をいただいていた公開実験の結果、プラスチックを圧縮梱包しても温度上昇等の変化はみられませんでした。

なお、施設には活性炭による吸着脱臭設備等を導入するので、化学物質等が発生した場合でも外部に出ることはありません。

- カン選別処理施設：処理能力6.4トン/日
- ビン選別処理施設：処理能力18.8トン/日
- ペットボトル圧縮梱包施設：処理能力5.8トン/日
- 貯留場所：トレイ、紙パック、有害ごみ（乾電池・蛍光灯）、製品プラスチック、使用済小型電子機器等

資源ごみ処理施設の先進施設例



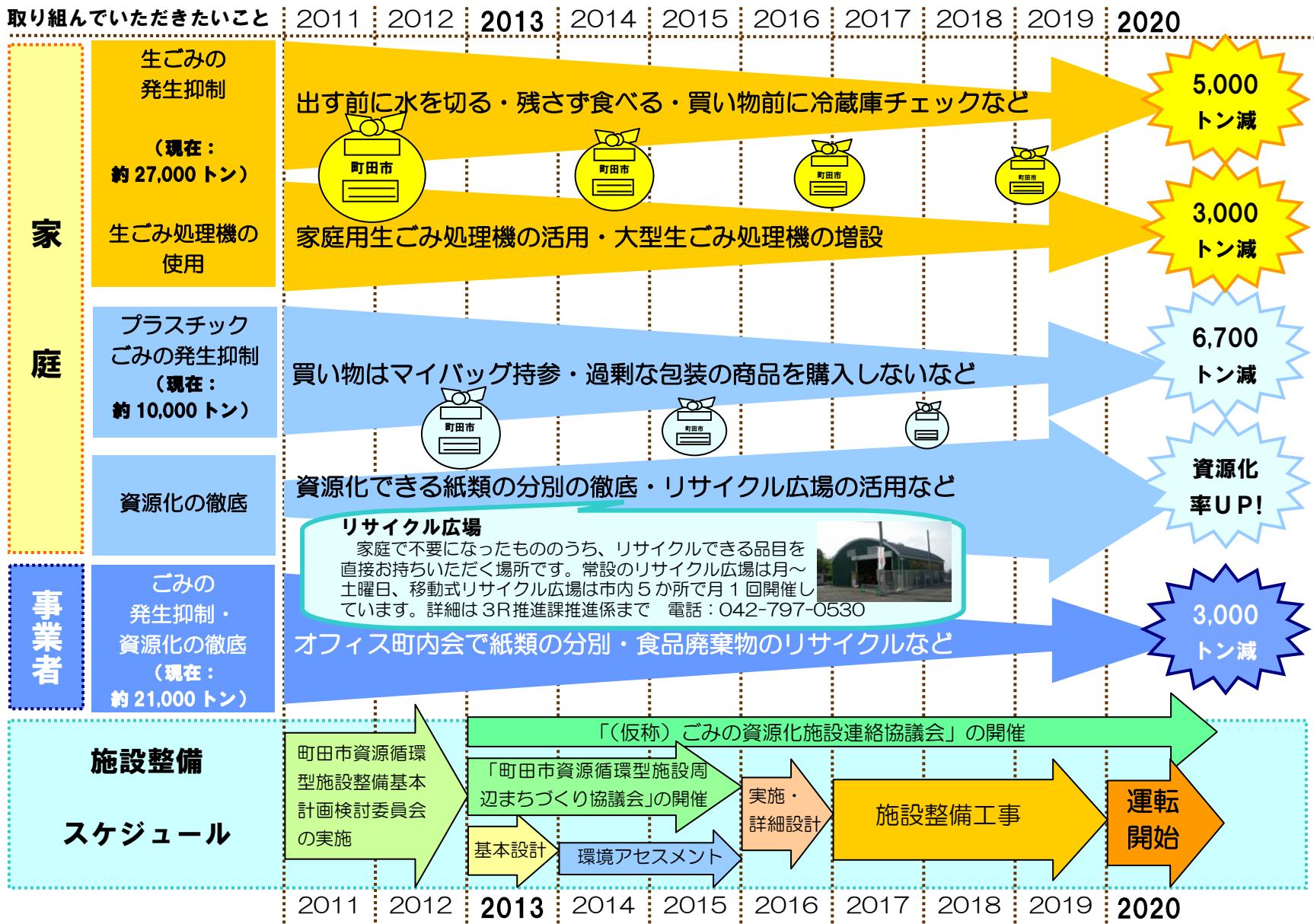
選別施設



圧縮梱包施設

より一層 ごみの減量・資源化にご協力ください

新たなごみの資源化施設は、環境負荷を最小限にしていけるために可能な限り小さな規模の施設とします。そのためには、皆さまの普段の生活で、ごみの減量や資源化など、より一層のご協力が不可欠となります。



この印刷物は、印刷用の紙をリサイクルできます。

みんなで実現！ごみマイナス40% -40%